

99	港湾局	「海の森」整備
事業概要	<p>東京の水と緑のネットワークを構築し、緑豊かな風格ある東京を実現する一環として、臨海部における緑の拠点形成を図るため、中央防波堤内側地区の公園予定地において森を主体とする公園「海の森」を整備し、自然環境再生に取り組む。都民や企業と協働し、苗木づくりや土づくりから始めて、ごみの島を緑の島に変え、東京のシンボルとして後世に伝えていく。</p> <p>海の森の整備や管理を行っていくため、都民や企業、NPOなどの参加や協働による新しい事業の進め方を構築する。</p>	
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> ・国の都市再生プロジェクト第三次決定（平成13年12月）において、「臨海部における緑の拠点の形成」の先導的取組として東京、尼崎、堺の3箇所が決定 ・平成15年11月に「海の森（仮称）」の構想について、東京都港湾審議会に諮問し、平成17年2月に答申 ・平成18年12月の東京都港湾審議会で「海の森公園」の海上公園計画を諮問し答申（平成19年2月「海の森公園」の海上公園計画を告示） ・「10年後の東京」（平成18年12月）を踏まえて、『「10年後の東京」への実行プログラム2009』（平成20年12月）では、風の道の起点となる「海の森」の整備を挙げ、その新しい整備手法として募金の活用や都民等との協働を明示 ・平成19年7月、石原知事が出席して「海の森募金」キックオフ・イベントを中央防波堤内側で行い、募金は苗木などへの活用に向け始動開始 ・海の森公園植栽基盤整備工事は、平成19年度から開始 ・平成20年5月には、石原知事・ボノ氏・マータイ氏・安藤忠雄氏を中心とした植樹イベントを実施 ・平成20年10月、C40メンバーによる海の森視察・植樹の実施 ・平成20年11月、都民約2000人による植樹を実施 	
現在の進行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業者による剪定枝葉からの堆肥づくり実施中 ・緑の東京募金のうち、海の森の苗木にあてるための募金活動を継続中 ・海の森苗木づくりボランティアが種子の採取や播種、苗の育成など活動中 (個人39・団体28・学校17) ・海の森友の会が発足し、メール配信開始（平成20年12月） ・海の森基盤整備工事完了（20年度4ha 累計5ha） ・植樹面積（20年度1ha 累計1ha） <p>なお、都民、企業等から植樹等の要望や協力の申し出が多数寄せられている。</p>	

<p>今後の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道府県の木を植える「ふるさとの森」植樹の実施（春） ・オリンピック・パラリンピック東京招致のPRと連動した都民等による植樹イベントの実施（秋） ・ボランティア活動及び海の森友の会の内容等の拡大 ・苗木づくりボランティアの追加募集 ・海の森見学会 		
<p>問い合わせ先</p>	<p>港湾局 臨海開発部 海上公園課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5320-5578</p>